

名 称	小金沢山自然保存地区
場 所	甲州市塩山上萩原、下萩原、牛奥、大和町初鹿野、田野 大月市大月町真木、七保町瀬戸、奈良子
所有区分	県有林
面 積	612.09ha
標 高	1,400～1,900m
指定年月日	昭和47年10月30日
指 定 理 由	<p>大菩薩峠南嶺にあたる石丸峠から小金沢山、牛奥雁腹摺山、黒岳、湯ノ沢峠を経て大蔵高丸、ハマイバ丸にいたる稜線沿いには、山地草原が数多く点在している。</p> <p>黒岳から雁腹摺山一帯には、コメツガ、シラベ、トウヒなどの樹齢100年生以上の貴重な天然林が広範囲に存在し、牛奥雁腹摺山附近には、小面積ではあるがイラモミの疎林がみられ、さらに、黒岳南部には、オオイタヤマメイツの貴重な純林とダケカンバがあるので、これらの貴重な純林と山地草原の自然を総体として保存する必要がある。</p>